顔認証サーバーソフトウェア WV-ASF950 シリーズ
V4.xx から V4.12 へのアップデート手順

概要

バージョンアップは、以下 2 つのツールを用いて実施します。

・Config ツール　：　WV-ASF950 ConfigurationTool（デスクトップのショートカット）

・アップデートツール：　UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_12

※各ツールは USB メモリ等から直接実行せず、デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください。
※ASF950 のバージョンは、C:¥ASF900¥version ファイルをメモ帳などで開いて確認してください。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	使用するツール
1	システムの停止	システムを停止し、サーバーの種別（マスターかスレーブか）の確認をします。	Config ツール
2	システムのアップデート	更新ファイルのコピー・システム設定の更新を行います。	アップデートツール
3	システムの起動	バージョンが更新されていることを確認し、システムを起動します。	Config ツール
4	カメラ情報の更新	マスク顔検出するカメラの情報を更新します。	Config ツール

また、サーバーの稼働状況を逐次確認するために顔認証サーバーエラー通知ツールを任意の PC にインストールしてください。

※バージョン 2.00 未満の場合、インストールから実施してください。バージョン 2.10 以降の場合、既存の顔認証サーバーエラー通知ツールのアンインストールから実施する必要がありますが、設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	実施バージョン
1	アンインストール	前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールをアンインストールします。	2.10 以降
2	インストール	任意の PC 上で顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールを実行します。	全て
3	サーバーの登録	顔認証サーバーエラー通知ツールにサーバーを登録します。	2.00 未満

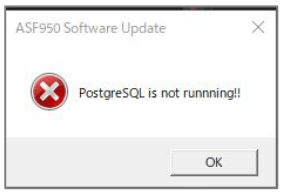
V4.xx では、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

マスク無し：1.04　　マスクあり：1.12

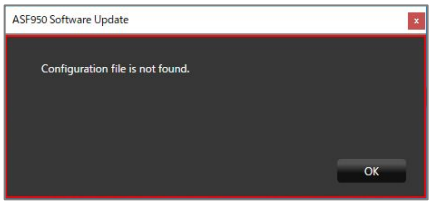
としています。

ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でアラーム感度を調整してください。

「PostgreSQL is not runninng」、「MDDB backup error」、「Configuration file is not found」のメッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。

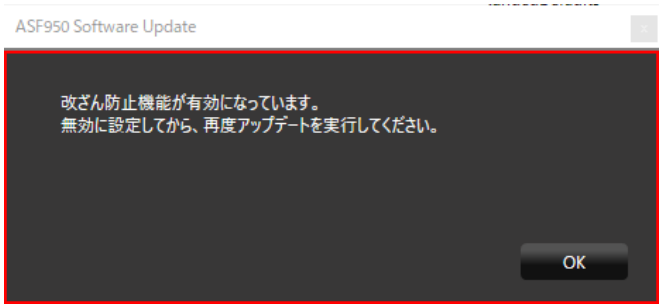






改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、再度アップデートを実行してください。

無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。

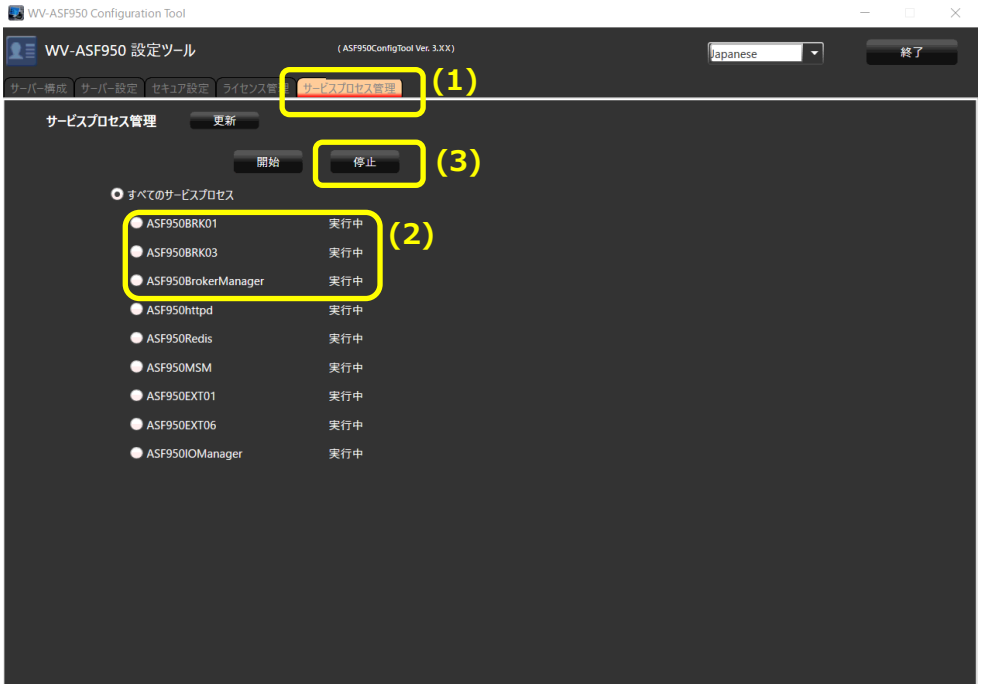


1. システムの停止

(1) Config ツールを起動し、「サービスプロセス管理」タブをクリックします。

(2) 以降の手順を進めるために サーバーが「**マスター**」か「**スレーブ**」かの判断を行います。
図の(2)の枠内の表示が「未インストール」となっている場合は「**スレーブ**」です。
それ以外の場合は、「**マスター**」です。
（以下の画面はマスターの例です）

(3) 「すべてのサービスプロセス」がチェックされていることを確認し、「停止」ボタンをクリックします。



(4) すべてのプロセスが「停止」となっていることを確認し、「終了」ボタンをクリックして、Config ツールを閉じます。

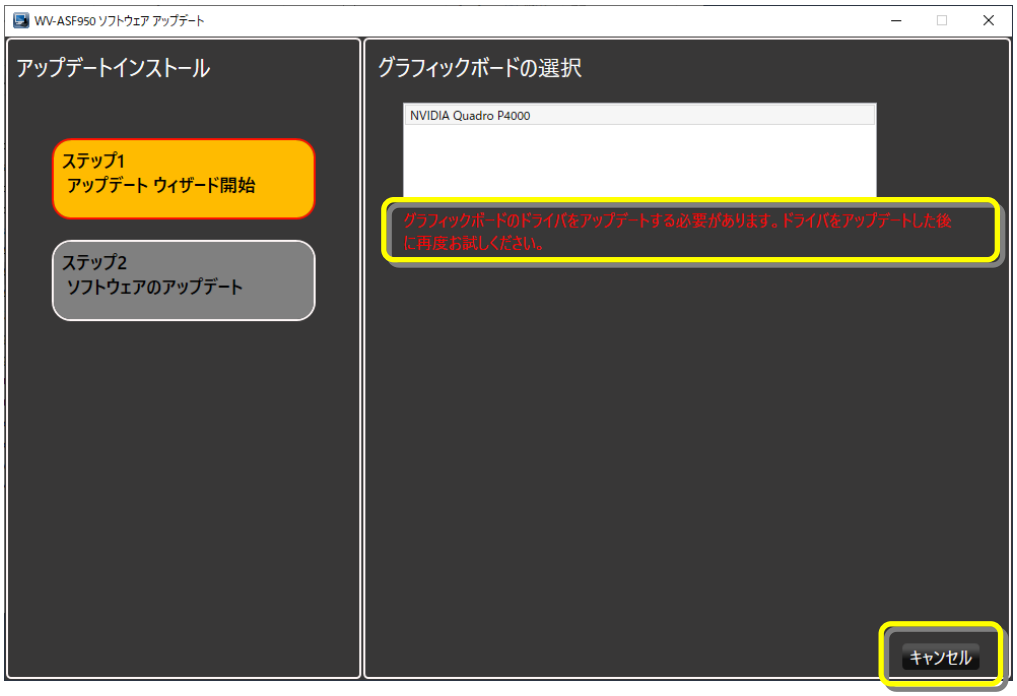
2. システムのアップデート

更新ファイルのコピー・システム設定の更新を、アップデートツールで行います。

(1)「UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_12¥WV-ASF950」フォルダ 内の
「ASF950UpdateTool.exe」を実行します。

※デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください
※.NET Framework 4.7.2 以降がインストールされていないときには、自動でインストールされます。

(2)「グラフィックボードの選択」で、サーバーで使われている GPU がリストで表示されます。
グラフィックボードのドライバーのバージョンが 471.68 未満の場合、注意文が表示され[キャンセル]ボタンが表示されます。



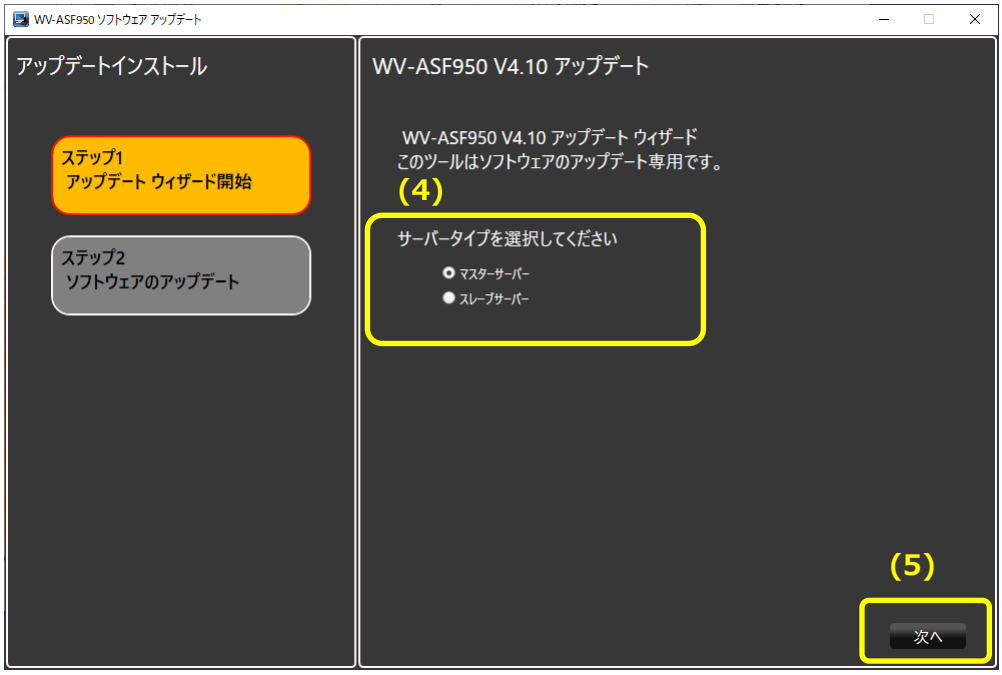
ドライバーを更新後、再度アップデートツールを起動してください。

(3) グラフィックドライバーのバージョンが 471.68 以上の場合、「次へ」ボタンが表示されるので押してください。



(4) 自動判定されたサーバーの種別(**マスターサーバー**または**スレーブサーバー**)が選択されているので、「1.システムの停止（2）」で確認したものと合っているか確認し、間違っている場合は正しいサーバーを選択してください。

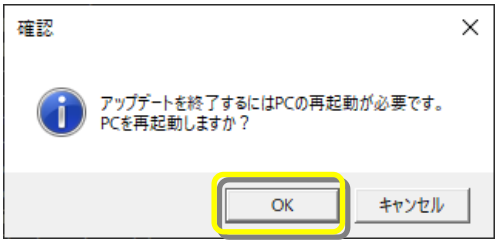
(5)「次へ」ボタンをクリックします。



(6) 新しいソフトウェアのインストールと設定が始まります。
「Update Completed」が表示されインストールの終了を確認したら、「終了」ボタンを押してアップデートを終了します。



(7) 再起動の確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、PC を再起動してください。

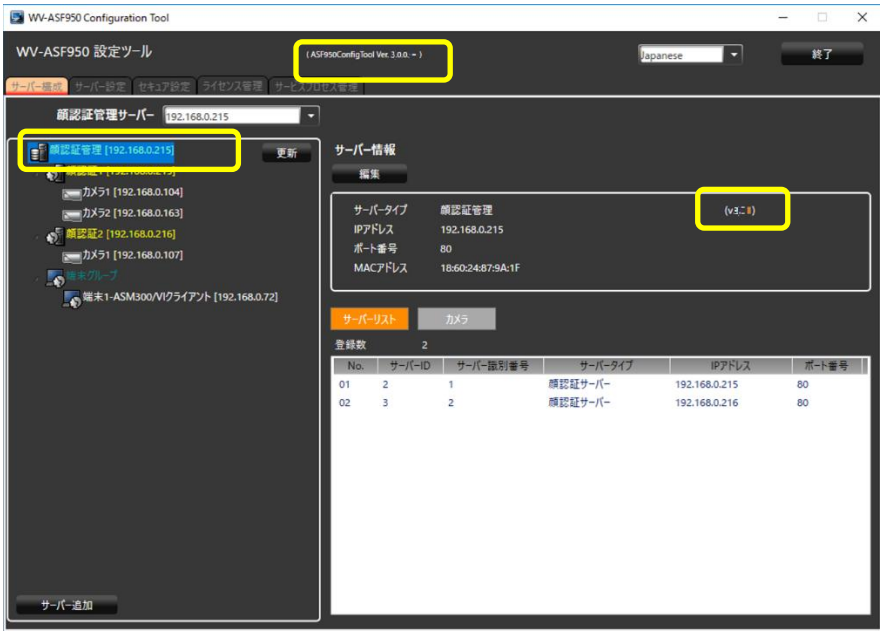


3. システムの起動

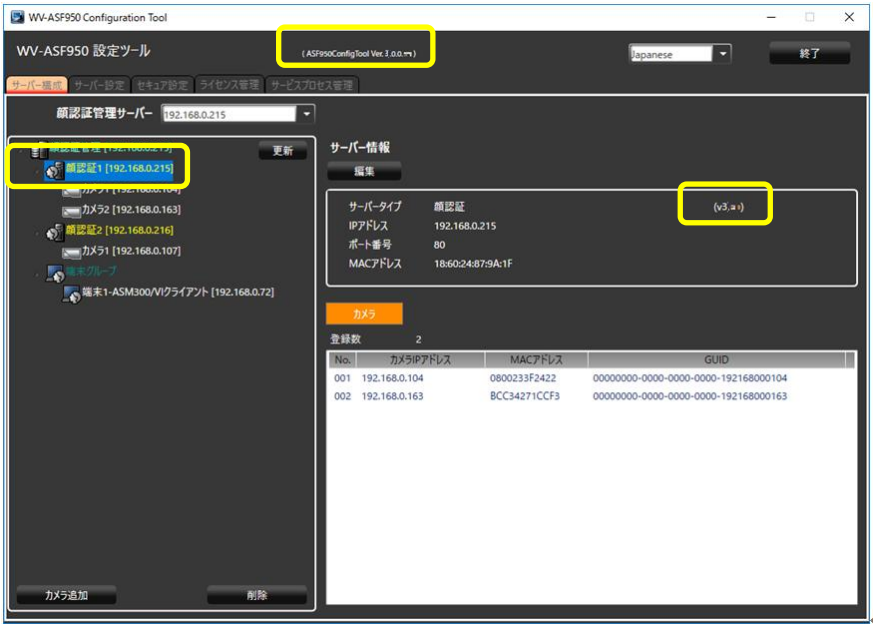
(1) Config ツールを起動します

(2) Config ツールのバージョンが「V4.12」になっていることを確認します。
サーバーのバージョンが「V4.12」になっていることを確認します

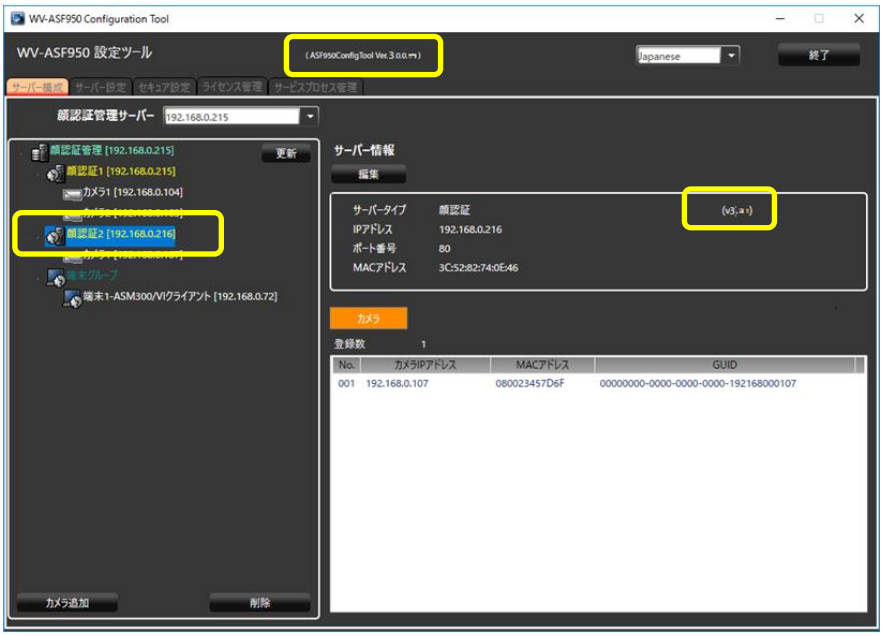
【マスターサーバーの場合】
顔認証管理サーバーのバージョンを確認します。



顔認証サーバー(顔認証 1)のバージョンを確認します。



【スレーブサーバーの場合】
顔認証サーバー(顔認証 2 以降)のバージョンを確認します。



(3) PC を再起動します。

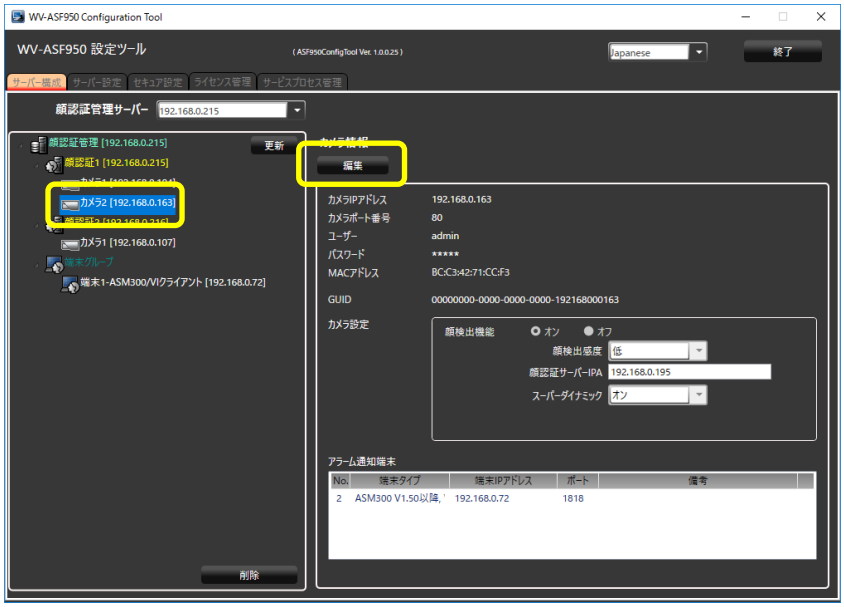
(4) PC 再起動後、Config ツールの「サービスプロセス管理」タブをクリックします。
すべてのプロセスが「実行中」となっていることを確認し、「Exit」ボタンをクリックします。

4. カメラ情報の更新

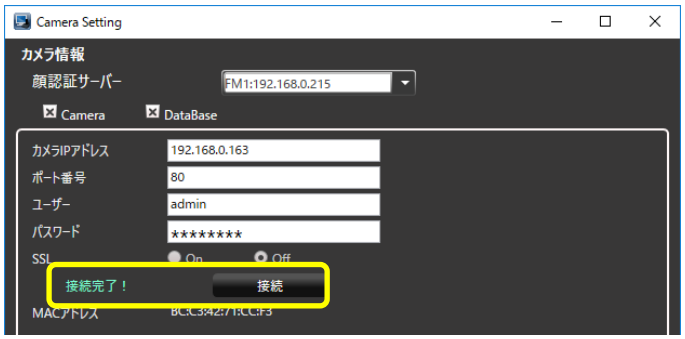
カメラのマスク顔検出機能を使うときは、対象のカメラ（i-PRO EXTREME シリーズのサポート機種のみ）のファームウェアを V2.00 以降へバージョンアップした後、サーバーのカメラ情報を更新する必要があります。

(1) **マスターサーバー**上で、Config ツールを起動します

(2)「サーバー構成」タブを選択します。
情報更新するカメラを選択し、「編集」ボタンをクリックします。
カメラ設定画面が表示されます。



(3)「接続」ボタンをクリックします。
「接続完了」と表示され、Config ツールがカメラの情報を取得しなおします。

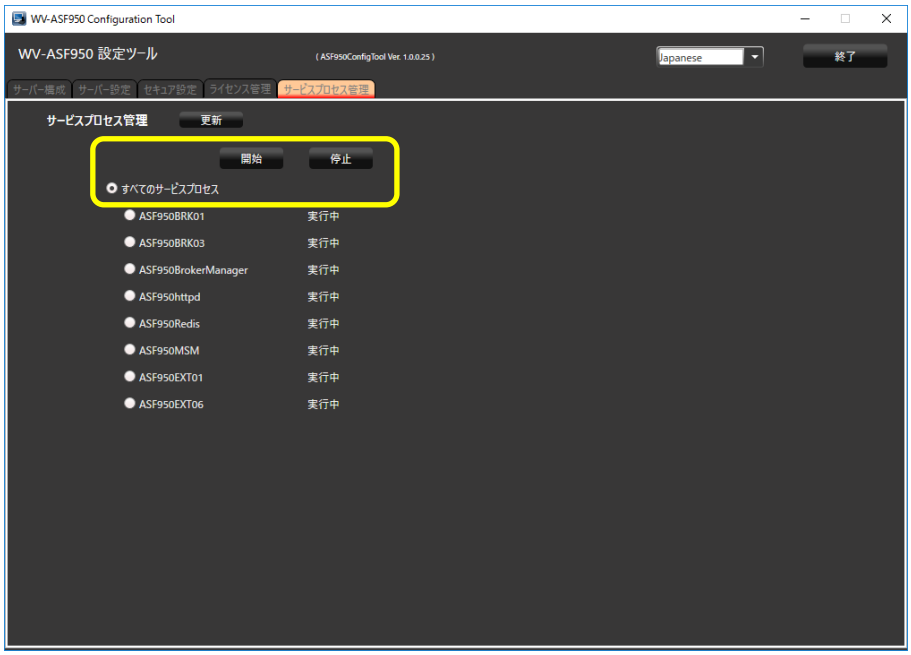


マウス顔検出の設定メニューが表示されるので、検出レベルをプルダウンメニューから選択します。
※「高」が推奨レベルです。
設定後、「更新して閉じる」ボタンをクリックします。



(4) 他のカメラについても、(2)-(3)の手順を繰り返します。

(5) 設定を反映させるため、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。



(6) **他の PC のスレーブサーバー**がある場合、同じように、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。

顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップ

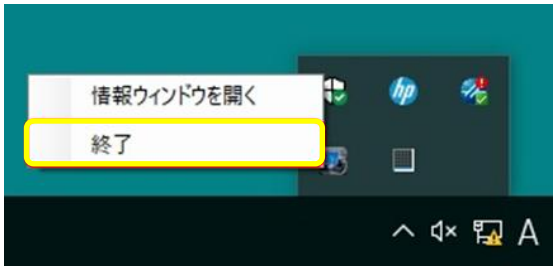
顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップを、ツールがインストールされているクライアント PC で行います

1 2 3

1. アンインストール

前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールがある場合のみ実施してください(バージョン 2.10 以降)。

(1) デスクトップの右下に表示されるアイコンを右クリックして「終了」をクリックし、終了確認メッセージで「はい」をクリックしてツールを終了してください。



(2) [コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択します。

(3) [プログラムのアンインストールまたは変更]画面に表示されているプログラムから、「WV-ASF950 エラー通知ツール」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。

(4) 画面の指示に従ってアンインストールします。

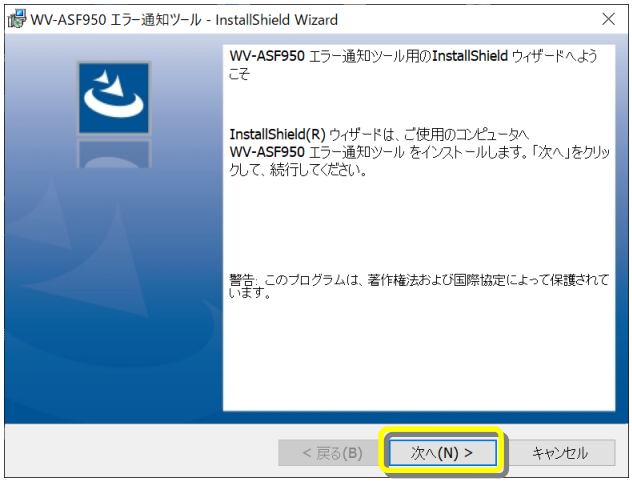
※アンインストール後に PC の再起動は必要ありません。

2. インストール

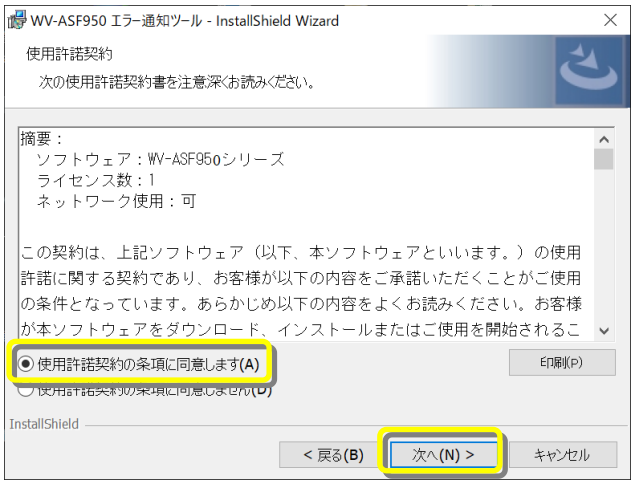
(1)「UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_12¥Error Notification Tool」フォルダ を
任意の PC 上にコピーします。

(2) コピーした PC 上で「Error Notification Tool」フォルダ内の
「WV-ASF950_Error_Notification_Tool_Setup_vxxxx**J**.exe」を実行します。
※ ****にはバージョン情報が入ります。

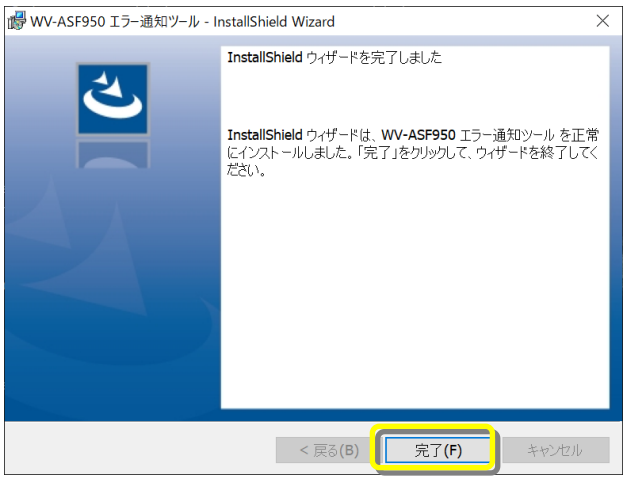
(3)「次へ(N)」ボタンを押します。



(4)「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押します。



(5) 顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールが始まります。インストールが終了したら「完了(F)」ボタンを押して終了します。


WV-ASF950 エラー通知ツール - InstallShield Wizard
InstallShield ウィザードを完了しました
InstallShield ウィザードは、WV-ASF950 エラー通知ツール を正常にインストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。
< 戻る(B)
完了(F)
キャンセル

3. サーバーの登録

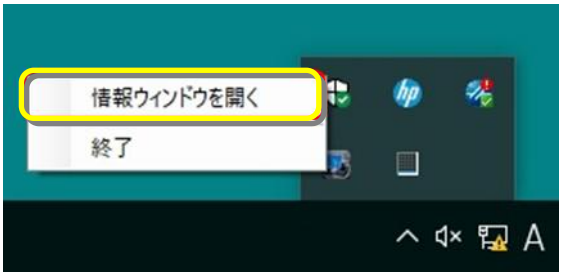
新規インストール時(バージョン 2.00 未満)もしくはシステム構成を変更する場合に実施してください。

※バージョン 2.10 以降の場合、設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません

(1) デスクトップ上にある「WV-ASF950 エラー通知ツール」をダブルクリックして顔認証サーバーエラー通知ツールを起動します。

※自動起動はしないため、インストール後はショートカットから必ずツールを実行してください。

(2) タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして「情報ウィンドウを開く」をクリックします。
顔認証サーバー情報ウィンドウが表示されます。



(3) 「追加」ボタンをクリックします。
WV-ASF950 サーバー登録画面が表示されます。



(4) IP アドレスを入力します。
サーバーの SSL を On にしている場合、「SSL」にチェックをします。
サーバー種別は「マスター」にチェックがついていることを確認します。
設定後、「追加」ボタンをクリックします。



顔認証サーバー情報に登録したマスターサーバーが追加され「状態[OK]」が表示されることを確認します。



「状態[OK]」 にならない場合は、IP アドレスが正しいか、ネットワーク機器に、顔認証サーバーのサービスプロセスが起動しているかを確認してください。

(5) 他のマスターサーバーやスレーブサーバーがある場合、(3)-(4)の手順でサーバーを追加します。スレーブサーバーを追加する場合、マスターサーバーを選択した状態で「追加」ボタンをクリックします。